

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/11/28号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中国の需要不安で70ドル台中盤まで値下がり

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台中盤まで値下がりする展開になった。中国で新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最高を更新していることで、同国の需要不安に上値を抑えられる展開になった。中国各地で行動規制の強化が報告されており、輸送用エネルギー需要の減少のみならず、景気減速の影響も警戒されている。

12月4日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合を控えて、米紙ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）が最大で日量50万バレルの増産を協議中と報じると急落したが、同報道はサウジアラビアやUAEが否定しており、一時的な値動きに留まった。一方、主要7カ国（G7）、欧州連合（EU）、オーストラリアによるロシア産石油の価格上限を巡る協議が行われているが、価格上限に引っ掛かるロシア産ウラル原油は少ないとの見方はネガティブ。ただ、実際にどの価格レンジを上限に設定するのかが協議がまとまっておらず、不確実性を持ち越した状態になっている。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（11月18日時点）は、原油が前週比369万バレル減、ガソリンが306万バレル増、石油精製品が172万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

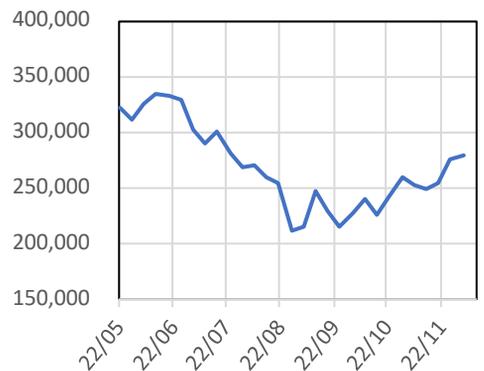
中国需要リスクの消化を優先、供給サイドのイベントも豊富

中国需要リスクの消化が最優先される。マーケットは日々の新規感染者数のデータ、それを受けての各種行動規制の動向に注目している。感染者数の増加傾向が続き、大都市でもロックダウン（都市封鎖）といった大規模かつ強力な行動規制の導入が報告されると、更に70ドル台前半まで値下がりする可能性がある。感染被害がピークアウトに向かっているとの見方が浮上し始めるまでは、短期下振れリスクを抱えた状態が続き、80ドル台前半で上値を圧迫されよう。

一方、12月5日にG7などのロシア産石油に対する価格上限設定が始まる。上限を上回る原油に関しては、輸送や保険契約などの提供が禁止され、事実上の取引停止を迫られることになる。現在のロシア産ウラル原油価格を大きく上回らない場合には、直ちに大きな混乱が生じることはないが、将来的に原油価格が上昇に転じた際に、ロシア産供給に対する制約が強まる可能性がある。また、ロシア政府は価格上限を設定した国に対して石油と天然ガスを売却しない可能性も示唆している。大きな不確実性を抱えた状態にある。

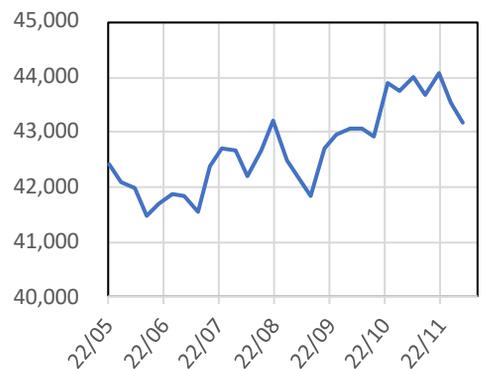
12月4日には今年最後のOPECプラス会合が予定されている。サウジアラビアのアブドルアジズ・エネルギー相は、現在の日量200万バレルの減産を22年末まで継続する方針を示している。EUのロシア産禁輸がOPECプラス産原油に対する需要拡大要因になる可能性はあるが、一方で世界経済の減速による需要減退も警戒されており、今会合では特段の政策調整は行わない可能性が高い。ただ、原油相場は短期的な売られ過ぎ感が強くなっているだけに、週末に向けてはイベントリスク警戒で持高調整に伴う反発リスクが高めになることには注意したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



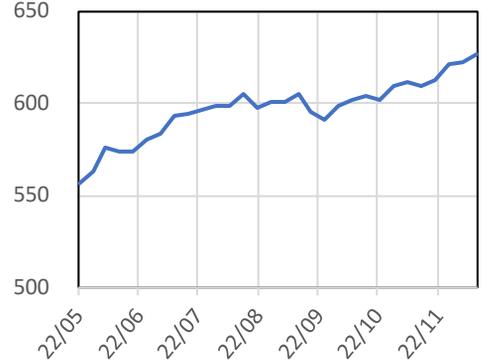
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

